

ワイヤレス設定を管理する

ワイヤレスビューには基本タブが3つあり、さらに存在する**プール**ごとにタブが追加されます。いずれかのタブをクリックすると、その専用ページに移動します。

- **ホーム**： ホーム：ワイヤレスシステム全体の概要を表示し、監視します。
- **モニター**：専用のStrideアンテナを1つ以上DECTスキャナーとして使用し、DECTスペクトルを表示します。
- **プール**：接続可能なデバイスの集まり
- **アクセスポイント**：アンテナー RF（DECT）とイーサネット領域をつなぐゲートウェイ
- **クライアント**：ワイヤレスDECT対応のGreen-GOデバイス

ペアリングやワイヤレス設定に関する実用的な情報については、「[Wireless Setup Guide](#)」を参照してください。

アクセスポイントの物理的なペアリング情報は、デバイス自体に保存されており、コンフィグファイルやソフトウェアには**保存されません**。

そのため、デバイスはペアリングを失うことなく設定を切り替えることができます。

さらに、別のセットアップから持ち込んだデバイスを接続すると、その設定が自動的にGreen-GO Controlにインポートされます。

ホームビュー

ホームビューでは、各グループごとにカードが自動生成され、各プール内のすべてのデバイスの概要が表示されます。また、StrideアンテナのPTPv4ステータスやアンテナ接続の使用状況が表示されます。さらに、ベルトパックについてはバッテリー状態やRFステータスが表示されます。

各グループの右上には「**Pool Actions**」ボタンがあり、そのグループに適用できる操作が表示されます。

プール操作

- **編集**：アンテナやベルトパックを追加・削除するための「グループ編集アシスタント」を開きます。
- **ペアリングモード**は、プールの状態を（設定時間中）「オープン」「クローズド」「検出可能」に変更します

モニタービュー

1つ以上のStrideアンテナの動作モードが「Monitor」に設定されている場合、モニタービューにはDECTのタイムスロットと周波数のグリッドが表示されます。

複数のアンテナが「Monitor」に設定されている場合、現在表示するアンテナはドロップダウンメニューから選択できます。

グリッドには、DECTスペクトルの利用状況が動的に表示されます。

検出された関連するRFレベルは、それぞれのタイムスロットに表示されます。

また、モニターモード中のアンテナ位置におけるRFレベルも表示されます。

- **黒色／番号なし**：そのタイムスロットは空いており、使用可能と見なされます。
- **緑**：そのタイムスロットは現在、Green-GOワイヤレスベルトパックによって使用されています。グリッドにはデバイス名が表示されます。
- **オレンジ**：未知または同期されていない送信元からのDECT RFレベルが検出されています。ただし、そのタイムスロットは再利用できる可能性があります。
- **赤**：未知または同期されていない送信元から強いDECT RFレベルが検出されています。これらのタイムスロットは、Green-GOワイヤレスベルトパックでの利用には不適と見なされます。
- **紫**：アンテナのブロードキャスト情報を含むダミースロットで、Green-GOワイヤレスベルトパックが利用可能なDECTアンテナを検出・接続できるようにします。各物理アンテナはシステムに2つの固有のダミースロットを提供し、両方とも同時に接続中のGreen-GOワイヤレスベルトパックに占有される可能性があります。ベルトパックがダミースロットに接続すると、そのスロットはダミーとしては表示されなくなり、代わりに緑色のアクティブスロットとして表示され、ベルトパックとのライブ接続を示します。

プールビュー

プールビューでは、現在接続中または切断されたデバイスに関連付けられているすべてのグループの概要を表示します。また、グループのステータスを表示し、接続されているすべてのデバイスを確認できます。いずれかのグループをクリックすると、そのグループのページに移動します。

プールモード

プールモードは、使用されるペアリング方式によって決まります。

- **OTAモード**：ペアリングは無線で行われます。これは基本モードで、ローミングはできません。ペアリングをクリアした後のデフォルトモードです。
- **Xシリーズ**：ペアリングはGreen-GO Controlで行う必要があります。これはより高度な方式で、最大7つのアクセスポイント間でのローミングが可能です。

プールの追加

 ボタンを押すと、ワイヤレスプール追加ウィザードが起動します。これによりプールが作成され、必要に応じてアクセスポイントやクライアントを追加できます。

名称設定

名称設定

新しく作成するプールの名前を入力してください。

アクセスポイントの追加

このステップでは、アクセスポイントをプールに追加できます。デフォルトでは、接続されていてOTAモードになっているアクセスポイントのみが表示されます。すでに別のXシリーズプールに所属しているアクセスポイントを表示するには、「すべてのアクセスポイントを表示」スイッチを切り替えてください。

注意：この操作を行うと、アクセスポイントが再プログラムされ、デバイスのDECTペアリングが失われます。

クライアントの追加

このステップでは、クライアントをプールに追加できます。デフォルトでは、USB経由で接続されていてOTAモードになっているクライアントのみが表示されます。

すでに別のXシリーズプールに所属しているクライアントを表示するには、「すべてのクライアントを表示」スイッチを切り替えてください。

注意：この操作を行うと、クライアントが再プログラムされ、新しいアクセスポイントへ再接続されます。

プールの削除

アクセスポイントが接続されていないプールは、 ボタンをクリックすることでビューから削除できます。この操作ではデバイスのペアリングは削除されません。ソフトウェア上のそのプールへの参照のみが削除されます。

プールビュー

プールビューには2つのカードが表示されます。1つは関連付けられたアクセスポイント用、もう1つは関連付けられたクライアント用です。OTAモードのプールは閲覧専用です。Xシリーズプールの場合はいくつかのボタンが利用可能です。

アクセスポイントを追加

 ボタンを使うと、新しいアクセスポイントをプールに追加できます。アクセスポイントは接続されている場合のみ追加可能です。すでに別のXシリーズプールに所属しているアクセスポイントを表示するには、「すべてのアクセスポイントを表示」スイッチを切り替えてください。

注意：この操作を行うと、アクセスポイントが再プログラムされ、デバイスのDECTペアリングが失われます。

クライアントを追加

 ボタンを使うと、新しいクライアントをプールに追加できます。クライアントをプールに追加するには、そのクライアントとプール内のすべてのアクセスポイントが接続されている必要があります。すでに別のXシリーズプールに所属しているクライアントを表示するには、「すべてのクライアントを表示」スイッチを切り替えてください。

注意：この操作を行うと、クライアントが再プログラムされ、新しいアクセスポイントに再接続されます。

選択項目を削除

REMOVE SELECTED

ボタンの動作は、デバイスの接続状態によって異なります。

デバイス、アクセスポイント、またはクライアントが接続されている場合、そのデバイスはプールから削除され、ペアリング情報もデバイスから消去されます。

接続中のアクセスポイントを削除

アクセスポイントはプールから削除され、ペアリング済みクライアントを持たない OTA モードに再設定されます。接続中のクライアントは再プログラムされませんが、このアクセスポイントがプール内で唯一のアンテナだった場合、クライアントは再ペアリングされるまで接続できなくなります。

USB 接続中のクライアントを削除

クライアントはプールから削除され、クライアント本体に保存されているアンテナのペアリング情報も消去されます。また、接続されているアクセスポイント側からも当該クライアントのペアリング情報が削除されます。

未接続のアクセスポイントを削除

アクセスポイントはプールから削除されますが、接続中のデバイスには変更は加えられません。クリアされる前に再接続された場合、そのアクセスポイントは自動的にプールへ再追加されます。

未接続のクライアントを削除

アクセスポイントが接続されていない場合、プール内のクライアント参照のみが削除され、デバイス上のペアリング情報は保持されます。アクセスポイントが接続されている場合は、アクセスポイント側のペアリング情報が削除され、クライアントはプールに接続できなくなります。

アクセスポイント

アクセスポイントビューは、接続済みまたは関連付けられているすべてのアクセスポイントの概要を表示します。アクティブなプールメンバーではなくなったロスト状態のアクセスポイントは、対象を選択して **DELETE** ボタンを押すことで削除可能です。

アクセスポイント設定

Strideアンテナの設定は、1台または複数のアンテナを選択して **EDIT** ボタンをクリックする、またはStrideアクセスポイントをダブルクリックすることで変更できます。

利用可能な設定は以下のとおりです。

- **動作モード**：Strideアンテナの動作モードを設定します。Normalモードではプール内のアクセスポイントとして動作し、MonitorモードではDECT使用状況を監視するDECTスキャナーとして動作します。
- **LED輝度**：フロントパネルの**DECTステータスLED**の明るさを調整します。

⚠ 注意

アクセスポイントをモニターモードに切り替えると、通常の動作が停止し、現在接続されているすべてのデバイスが切断されます。また、そのアクセスポイントは現在のプールから削除されます。

クライアント

クライアントビューは、接続中または関連付けられているすべてのクライアントの概要およびステータスを表示します。プールのメンバーではない Lost クライアントは削除可能です。

アクセスポイントとクライアントのステータス

	色	ステータス	説明
●	グレー	検出済み	初期状態
●	赤	未割り当て — ロスト	プールに属しておらず、現在接続されていないクライアント
●	赤	割り当て済み — ロスト	プール所属デバイス（切断状態）
●	青	未割り当て — USB接続済み	プールに属していないクライアント（USB接続）
●	青	未割り当て — 接続中	OTAモードのアクセスポイント（接続中）
●	オレンジ	割り当て済み — USB接続中	プールメンバーのクライアント（USB接続）
●	オレンジ	割り当て済み — 非同期	ペアリング状態が同期していないアクセスポイント
●	緑	割り当て済み — DECT接続中	プールメンバークライアント（DECT接続中）
●	緑	割り当て済み — 接続中	プールメンバーのアクセスポイント（接続中）



2025年6月5日



2021年2月3日



Henk-Jan Blok, Jeroen Snoeijen, Timo Troups



株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682